令和6年度防府市産業戦略本部 第1回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和6年8月7日（水）午前10時00分から
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

1 開 会

2 議 題

産業インフラ整備状況について
産業戦略に必要なこと

3 その他

4 閉 会

■配布資料

	資料名
資料1	動いている防府
資料2	重要港湾三田尻中関港の機能強化に向けて
資料3	従業員の住居対策
参考資料①	育成就労制度の創設について
参考資料②	外国人人口の推移
参考資料③	さあ！ほうふへ

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職		名前	出欠
本部長	防府市長		池田 豊	出席
本部委員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	田中 真二	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	室田 聡	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	山本 武司	出席
		東海カーボン株式会社 防府工場 総務課長	矢田 和也	出席
		株式会社丸久 専務取締役	宇佐川 浩之	出席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 管理部長	尾高 盛巨	出席
		東山口信用金庫 本店長	長峯 浩	出席
		大村印刷株式会社 取締役本社営業部長	村田 浩司	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	羽嶋 秀一	出席
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	種田 正幸	欠席
		防府流通センター協同組合 理事長	喜多村 誠	出席
事務局	本部員	産業振興部 部長	杉江 純一	
		土木都市建設部 部長	石光 徹	
		総合政策部 部長	永松 勉	
		文化スポーツ観光交流部 部長	瀬川 博巳	
	庶務	産業振興部 理事	亀井 幸一	
		産業振興部 部次長	松村 訓規	
		産業振興部 企業応援課 課長	則常 弘和	
		産業振興部 企業応援課 課長補佐	福知 圭子	
		産業振興部 企業応援課 主任	上野 将隆	

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 産業インフラ整備状況について説明

土木都市建設部長から道路港湾の整備状況、広域防災広場の進捗、産業団地整備に向けた取り組み、従業員の住居対策について、産業振興部長からメバル公園エリア全体の活性化の取組について説明

3 各本部委員による意見

本部長	産業インフラ整備、産業戦略に必要なことについて何うが、今後の総合計画策定も踏まえて伺いたい。
A委員	本会議内において、また、県、市に色々と話をしてきた、西浦交差点の渋滞解消について。 まずは今年度、交通分析調査の実施とスピード感のある対応をしていただいている。先月、市土木都市建設部に当社含め、該当交差点の周辺立地企業へのヒアリングを行ってもらった。 周辺立地企業も出勤時間帯を調整するなど様々な渋滞緩和策を行っている。 防府市を俯瞰して見ると西浦交差点は、工業エリアである中関地区への西側の入口の要衝である。東西の幹線道路、交差点は、今後防府が発展し、企業の進出や従業員の増加に備え今から手を打つべきことだと考える。 民間もサポートしていくので、県ともしっかりと連携していただき、今後もスピード感を持って対応いただきたい。
本部長	先週、県との会合において、国道2号台道鑄銭司間拡幅ができた時に、西浦交差点の改良が出来ていないと効力が弱いという話をさせて頂いた。 国道2号に関しては、富海拡幅も現在行っている中で、市内の環状線がスムーズに流れていることが大切だと考えている。 国道2号拡幅の効果を一層上げるため、県道防府環状線の整備、市が行う防府北基地東道路整備についてもしっかりと行い、全体としてのネットワークの機能を果たすよう国・県・市で連携していきたい。
B委員	プリズムストリートが整備され、大変便利になった。タクシー業界において、大変便利に行き来をさせてもらっている。 ただ、便利になって交通量が増えた分、交差点において一旦停止の表示が無ければ、東西と南北の車両の通行において接触しそうな事案が、我々が認知しているだけで、複数回でてきている。警察の管轄なのか市の管轄なのか不明だが、一旦停止になっていないため車同士接触しそうな事案があったということをご報告したい。
本部長	貴重な意見を頂いた。公安委員会にも相談していきたい。プリズムストリートについて

ては、ご要望も頂いて、かなり時間がかかってしまったが、整備・開通がかなった。まちづくりに活かしていきたい。

C委員

道路に関して、三田尻大橋から西浦までは湾岸産業道路の性格を持つため、しっかりしたものにしていくことは極めて重要だと思う。また、南北を結ぶ道路について、朝夕の渋滞が非常にひどくなってきたような感じを受けている。防府北基地東道路等、南北を結ぶ道路が改善されると非常によい。2024年問題は、時間外労働の上限規制ということで、例えば渋滞等が本当に無駄である。そういう意味で、国道2号の富海拡幅、台道鑄銭司間拡幅に大いに期待している。

暮らしにおいても、産業においても道路は極めて大事なものであるため、できるだけ早く整備してもらいたい。

本部長

防府地域の道路整備は県央部の発展をけん引する意義もある。一般国道2号防府山口間整備促進民間期成同盟会と共に、1日も早く完成できるよう努めていきたい。

また、防府北基地東道路について、完成イメージを持っていただき地元で盛り上げていただけるよう、完成予想図を現地に立てたい。

2024年問題を乗り越えるためにも渋滞をなくすことが非常に大きいと考えているため、しっかりと取り組んでいきたい。

D委員

駅の南北自由通路ができることによって、人の流れがより活発になって、より商業発展すると思っている。民間として色々とできることを行っていきたいと思っているし、また、行政からも助言を頂きたいと思っているのでよろしくお願いする。

本部長

今年、鉄道高架30年目の節目の年になる。鉄道高架の効果を出すためにも、南北自由通路を開通する。これにより駅周辺がまた変わると考えている。

E委員

農林総合技術センター「農林業の知と技の拠点」の形成もあり、1次産業の関連は、今後非常に期待感がある。

1次産業の関連で、先ほど説明のあった魚市場と農畜産物というのは親和性があるのではないかと考えている。

現在は、青果市場が別の場所にあるけれども、三田尻港については公園整備なども合わさって非常に集客が見込める場所となっているので、1か所に集約して魚市場と青果が併設されれば、集約効果で非常に大きな効果が出るのではないかと考えている。

本部長

昨年の農大祭があったときに、潮彩市場との間をシャトルバスを走らせたら、農畜産物と魚をどちらも買うことができ良かったと伺ったところであり、1次産業関連を大きく束ねていくと相乗効果が得られると感じている。

集約をして、1つの場所で色んなものが見られるというのは、大きくPRできるポイントだと思うので、今後農業関係者、水産関係者の話をよく伺ってより良い形にしてい

きたいと思っている。

C委員

産業団地の件で、市内に整備予定があると伺って、大変重要なことだろうと思っている。

企業誘致に当たって、そもそも受け皿となる場所があるかないかというのは大きく違ってくる。

防府市は直近は民間所有の土地しかなかったので、市の所有団地があるということは、政策的にインセンティブや補助なども検討できると思うので、是非進めていっていただきたい。そういった点で行けば、1つではなくて2つでもいいし、台道以外にももう少し臨海部などにもできればよいと考えている。

本部長

防府市は素晴らしい産業都市だと思っているので、防府にふさわしい企業に立地してもらいたいと考えている。企業誘致には、港湾や道路などの産業インフラ整備がかかせない。土地だけがあっても、インフラが整わなければ魅力的に見てもらえないので、企業活動がしやすいものを整備をしていきたいと考えている。

併せて、港湾の利用が進むよう、ポートセールス活動及び荷主になってもらえるような企業に立地してもらえると良いと考えている。

F委員

会議所では、港の利用促進を具体的に行うため、今年度、三田尻中関港利用促進協議会を設置した。港湾のPRを行うパンフレットの作成等を検討している。民間主体で市と連携をして取組を行っているので、国にも取り組みを理解してもらうためにも助言を求める要望を、協議会、会議所、市の三者で行ってほしいと考えている。

先ほど三田尻港の活用についてご意見があったが、私もメバル公園一帯はまだまだ発展できると思っているし、活用意義もあると思うので、集約をして活性化につながるのであれば、是非お願いしたい。

本部長

港湾整備については、貨物の取扱量が増えていけないと思うので、協議会等の協力もいただきながら、ピーク時を超える貨物量にしていければと思う。

そのためには、ポートセールス、産業団地造成からの企業誘致に取組み、その延長上に港を利用してもらえるような企業を誘致できるといいと考える。この中関3号岸壁延伸が、防府の産業界にとって将来大きな役割を果たすと思っている。

港の利用促進、岸壁延伸は大きな課題で、時間もかかるが、できるだけ早く方向性をだして、期待感を高めてやっていきたい。

C委員

港に関して岸壁が延伸されると、泊められる船の数も変わってくるし、大型のクルーズ船なんか入港しやすくなると考えている。整備が進むとこの辺りが広がりを見せるのだろうと思う。ただ、利用促進という観点から行けば、航路自体がないと利用増加に繋がらないので、海運会社などにも働きかけをしていけばよいのではないかとと思う。

本部長

ポートセールスは単独でできるものではないので、県と一体となって動いていきたい。また、単独の港だけでなく、周辺の港とセットになって広域的に考えていかないといけないと思っている。県と一体となって取組を行っていくが、皆様とも一緒になって進めてまいりたい。

G委員

港湾利用の話題に絡めて、ブルーカーボンの取組を紹介する。防府の港で海藻を増やすという取組を行っているが、海藻を増やすことのみでは、環境保全が図れなくなっている。海水温の上昇と併せて海藻を食べる魚の食欲が活況になっており、せっかく海藻を増やしても食べつくされてしまう。長崎県では、この海藻を食べつくす魚たちを漁獲して数を減らしていく取組にブルーカーボンクレジットを発行することを進めている。ただし、この取組は駆除が目的で、食用としては考えられていない。せっかく漁獲していくので、その取れた魚をタコスにして食べれないかと検討しているところである。

もし、この取組がモデル化できれば、一つの地域モデル、防府モデルとして全国に発信できると思っているので、海藻を増やす取組と海藻を食べる魚を食用として捕獲していくことを両輪で検討していきたい。そうすれば防府が環境に対して意識の高いまちだと認識してもらえる。

本部長

ブルーカーボンの取組がかなり前進されて、クレジット化もされたということで大変素晴らしいことだと思う。三田尻地区全体のPRにもつながる取組として防府らしさを出していけたらと思う。引き続きお願いしたい。

H委員

県内景況として、日銀下関支店の話によると、緩やかに回復している状況にある。県内賃金のアップや実質賃金2年ぶりに増加に転じるなど明るい材料も出てきている。

行政には市制度融資のバックアップを続けてもらいたいと思う。市街化調整区域等の都市計画についても、また情勢に応じて見直し等も検討いただきたい。

本部長

これまでは無利子に近い形でやってきたが、金利が上がってくると中小企業者にとって影響が出てくると思う。過去には高い金利を経験しているが、高金利を経験したことのない経営者も多いと思う。今後の資金繰りというのは非常に困難だと思うので、市内金融機関の皆様のアドバイスをいただきながら乗り越えていきたい。

I委員

LGBTQについて周りの意識を高めていきたい。トイレの問題が身近なところでも起こっていて、建物の男女別トイレは、今後、見直す必要があるのではないかと感じる。仮設トイレなど男女の別がなければどちらが使っても不自然ではないので、こうした視点を公共施設や雇用確保が必要な企業は真剣に取り込んでほしい。マイノリティに優しい市になってもらいたい。

本部長

時代の流れの中で、大事な視点である。行政も企業も理解を深めていき様々議論を行

っていく中で、良いものを検討していければと考える。

J 委員

資料でもご説明頂いた、従業員の住居対策について。自分の実体験として4月に赴任してきた際に、物件が見つからず、2週間ほどホテル住まいだった。転勤の伴う企業にとって住居の問題は必ず出てくるので、整備についてのご検討いただきたい。

本部長

これまでも従業員の住居対策については、空き家の活用を含め検討してまいった。しかし、今後新規立地の企業があると、同じように不足になると思われるので、抜本的に見直していく必要があると考えている。せつかく新しい企業が来ても市外から通われる方が大半だと良くないので、これからの大きな問題として検討していく。

K 委員

昨年度、住居の対策について提言を行い、空き家を活用した住居対策の施策を進めてもらい嬉しく思う。ただ、制度化されていることについて、中々認知がされておらず知られていない。特に若い世代が、必要となる情報だと思うので、民間も含めて周知をしていく必要があると思う。

本部長

一般に広めていくには、なるべくわかりやすい言葉、説明に努めていかないといけないと思う。関係者で協議をするときは、内容を把握した人たちが多く、知らない人の感覚になっていない。周知・PRを行うときには、分かりやすく、伝わりやすい表現で知ってもらうようにしていく。

L 委員

慢性的な人手不足が起こっている。当社も今年度採用活動について、市外から応募があったが、住居の問題で市内に良い物件を見つけることが出来ず、2人断念した。家族単位で見た時に適する物件が少ないように感じているので、今後、住居対策に取り組んでいただきたい。

本部長

住居対策としては、色分けして市外からの人を優先にはできないが、今直面している住居問題については、しっかり取り組んでいく必要がある。

M 委員

港の利用促進について、ハードとソフト両面で回していく必要がある。ハードについては整備を進めていただきたいが、ソフト面として、航路と仲介業者の問題がある。

航路はそもそもないと運ぶことができないが、大型のコンテナを製品詰めしたり、通関手続きを行ってくれる業者が足りていない。ハードだけでなくソフト面の充実というのも進めていただけると、港利用も進むのではないかと思う。

本部長

利用促進については、何が不足しているのかという点を県と一緒に分析し、市内企業に使ってもらえるのが、何よりアピールに繋がると思うので、またご意見等いただきながら進めていく。

N委員

台道のエリアは、昔からコミュニティ基盤がしっかりしていて、地元で愛着を持って生活されている方が沢山おられる。小俣交差点を起点に東西南北に移動が可能で、防府の西側の玄関口であると思っている。今後、国道の拡幅がされれば、アクセスも更によりよくなり、台道のまちづくりが更に進んでいくと思う。小さいコミュニティではあるが、活動が凄くしやすい場所であるので、台道が盛り上がるように頑張っていきたい。

本部長

防府市は県の中でも非常に多方面にアクセスしやすくなっている中で、台道地区は宇部市や山口市に近く、これから国道が拡幅されれば今よりもっと快適にアクセスできるようになる。その中で、産業団地造成も予定しており、今後更に発展していくのではないかと考えている。これから公民館の建替えも予定しており、その場所については地元で決めていただきたいと思っている。素晴らしいコミュニティをお持ちなので、是非そのコミュニティのご協力を頂ければと考えている。

本部長

本日いただいた意見を参考に、産業戦略に活かしていきたい。引き続き、ご意見をいただきたい。

閉会